

下京図書館だより

For High School Students

2023年12月発行

あの有名な文豪

ある日、下京図書館で...

冬休みに、「文豪」と「名著」に関する本を読む課題が出た…。下京図書館に来てみたけど...

ヤ、ヤバイ！本がありすぎて、どれを読んだらいいか全然わからんっ…！誰かあ～タスケテ～！！

…その時、世界が暗転した。

あれ？ここどこ？図書館じゃない！？

これはこれは。久方ぶりのお客人だのう。お嬢さん、ようこそ「文豪と名著の異世界」へ。

ど、どちら様で…?! どっかで見たことあるような...

わしは夏目漱石である。迷えるお方、貴女にも読みやすい文豪と名著の本を紹介してしんぜよう。

もしも高校生が異世界で、読みやすい文豪と名著の本を

貴女は「JK（女子高生）」じゃろ？ピッタリがあるぞ！「ラノベ（ライトノベル）」はどうじゃ？

夏目漱石がラノベ?! マジか...

でもなんかおもしろそうかも...

『千駄木ねこ茶房の文豪ごはん 二人でつくる幸せのシュガートースト』
山本 風碧/著 花邑 まい/イラスト KADOKAWA/富士見L文庫

喫茶店を営んでいた祖母が入院し、店を守るよう頼まれた亜紀。様子を見に行くと、店の前には行き倒れた謎のイケメンが…。しかも自らを夏目漱石と名乗る黒猫まで現れて…。文豪ゆかりのメニューが食欲をそそる、心温まるストーリー。第2弾『千駄木ねこ茶房の文豪ごはん2 あったか牛鍋を囲む愛弟子との木曜会』もあり。

夏目センセイ～！夏目漱石センセイ～！！

に紹介されたら

漱石センセイ！次はワタクシに本の紹介をさせてください！

だ、誰…?! やっぱりどっかで見たことあるような...

『名探偵の生まれる夜 大正謎百景』
青柳 碧人/著 KADOKAWA

新たに創刊が決まった児童文学雑誌「赤い鳥」への原稿執筆を渋る芥川龍之介に、鈴木三重吉が芥川の創作意欲を引き出すために語った不思議な話とは…? (『名作の生まれる夜』より)
様々な文豪たちが登場する、大正時代を舞台にしたミステリ集。

申し遅れました！ワタクシは芥川龍之介です！この『名探偵の生まれる夜』にはワタクシも登場していますよ！



文豪 presents 文豪と名著のおススメ本



『名著奇変』

柀 サナカ・奥野 じゅん・相川 英輔
明良 悠生・大林 利江子・山口 優／著
飛鳥新社



現代の作家たちが、宮沢賢治『銀河鉄道の夜』、太宰治『走れメロス』など文豪の名作小説にインスピレーションを得て、ホラーミステリにアレンジしたアンソロジー。元になった名作との読み比べもオススメ。



『文豪たちの口説き本』

彩図社文芸部／編 彩図社



「死ぬ気で恋愛してみないか」(太宰治)など、10人の文豪たちが愛する女性に宛てたラブレターや口説き文句を取り上げ、恋愛の顛末とともに紹介した本。文豪たちが一途な思いを込めた言葉の数々が心に響く。言われてみたいかも？

『文豪、社長になる』

門井 慶喜／著 文藝春秋



文豪・菊池寛の伝記小説。流行作家になり、雑誌「文藝春秋」創刊、文藝春秋社社長に就任、芥川賞・直木賞の創設、そして時は戦争へ…。明治から昭和という激動の時代を駆け抜けた文豪の人生に迫る、読み応え十分の1冊。

『NHK ラジオ深夜便絶望名言』

頭木 弘樹・NHK<ラジオ深夜便>制作班
川野 一宇・根田 知世己／著
飛鳥新社



カフカ、シェイクスピア、川端康成など国内外の文豪のネガティブな名言＝「絶望名言」を取り上げて紹介する NHK ラジオの人気番組の書籍化。文豪の絶望的名言と、難病を患った経験のある著者だからこそその語りが心に沁みる。

『文豪聖地巡礼』

朝霧 カフカ／監修 立東舎



泉鏡花、夏目漱石、川端康成、中原中也など文豪ゆかりの場所を紹介した本。かつて文豪が住んでいた屋敷や宿泊した宿など、様々な場所が紹介されている。『文豪ストレイドッグズ』の著者・朝霧カフカ氏が監修。この本を片手に、文豪ゆかりの聖地巡礼へいざ！

『カラー版 文豪たちの西洋美術』

一夏目漱石から松本清張まで』
谷川 渥／著 河出書房新社



日本の近代作家たちは、その著作の中でしばしば西洋美術について取り上げ、言及している。その点に着目して書かれた文豪本。いかに文豪が西洋美術に少なくない影響を受けてきたのかがよくわかる一冊。



『逃げまくった文豪たち』

嫌なことがあったら逃げたらいいよ』
真山 知幸／著 実務教育出版



人間関係から、家族から、仕事から…いろいろあって逃げ出した文豪たちのエピソードを紹介。結婚式をドタキャンした石川啄木、キャンセルで借金して国外逃亡したドストエフスキーなど、文豪たちの仰天の逃亡劇に10点満点で評価を加えたオモシロ文豪本。



『世界名作“ひとこと”劇場』

読んどけばよかった、でもきっと読まない、
名作文学の短すぎるあらすじ101選』
ジョン・アトキンソン／著



世界の名著のあらすじを、ゆるいイラストと関西弁で表現した斬新な“短すぎる”あらすじ集。長い、難しい…有名だけど今まで手が出せなかったあの大作を読んだ気になれるかも？

『文豪春秋』

ドリヤス工場／著 文藝春秋



文藝春秋社内で菊池寛の銅像が編集者に語るという設定で、文豪たちのエピソードや秘話の数々を紹介。漫画になっていて読みやすく、また文豪のプロフィールも掲載されていて、文豪本初心者には特にオススメ。

『三人書房』

柳川 一／著 itouあつき／装画
岩郷重力+Y.K／装幀
東京創元社 ミステリ・フロンティア



大正8年、平井太郎（後の江戸川乱歩）は、弟二人と共に古本屋「三人書房」を開く。店には様々な謎が持ち込まれ…。宮沢賢治、高村光太郎、宮武外骨らとの交流の中で、謎に向き合う平井。偉大なる推理小説作家・江戸川乱歩誕生の瞬間を感じさせる、印象的なミステリ。

『名著の話』

僕とカフカのひきこもり』
伊集院 光／著 KADOKAWA



NHKのEテレ番組「100分de名著」で語り切れなかった名著の魅力を、伊集院光氏と専門家が語り合う対談集。伊集院氏の読後の率直な思いに共感しつつ、専門家による意見や解説もわかりやすい。第2弾「名著の話 芭蕉も僕も盛っている」もあり。



『コーヒーと小説』

庄野 雄治／編
mille books



太宰治、芥川龍之介、二葉亭四迷など文豪の小説12編を、コーヒー店を営む庄野雄治氏が“コーヒーに合う”という観点からセレクトした小説集。ぜひコーヒーをお供に、味わい深い文豪の世界を体感してみよう！

『文豪たちのずるい謝罪文』

山口 謠司／著 宝島社



お金がない、締め切りに追われる、道ならぬ恋に落ちる…様々な修羅場に陥った文豪たちの謝罪と言ひ訳の言葉の数々を紹介。「金はあるやつがせいでいい」(川端康成)、「(借金を断られたら)私、死にます」(太宰治)など、文豪たちの衝撃的な言葉に驚かされる。

『ニャタレー夫人の恋人』

世界文学ネコ翻案全集』
菊池 良／著 幻冬舎



あの『チャタレー夫人の恋人』が、『ニャタレー夫人の恋人』というネコ文学に大変身！他にも、『華麗なるニャツビー』、『にゃあ無情』など、世界の名著が見事な“ネコ名著”になったユニークな名著パロディ集。



『関東大震災百年』

文豪たちの「九月一日』
石井 正己／編著 清水書院



1923年9月1日、関東大震災発生。未曾有の大惨事を、多くの文豪たちが自身の言葉で書き残している。当時の悲惨な状況を克明に描写する文豪の確かな筆致が真に迫る。震災から百年目の今だからこそ、読むべき一冊。

下京図書館



〈住所〉
〒600-8449 京都市下京区新町通松原下る富永町110-1
下京修徳ふれあい福祉会館4階
(最寄駅：地下鉄「五条」市バス「五条西洞院」)

〈開館時間〉
平日：午前9時30分～午後7時
土・日曜日・祝日：午前9時30分～午後5時

〈休館日〉
火曜日（火曜が祝日の場合は翌平日）・年末年始

貸出中の本もあります。予約できますので、詳しくはカウンターの職員に聞いてくださいね！